

仙南地域広域観光推進プランへの回復戦略追加方針について

1 プランの改訂・延長について

- ・県の「第4期みやぎ観光戦略プラン（県プラン）」については、みやぎ観光振興会議で御議論いただき策定した「みやぎ観光回復戦略」を現プランの実施計画と位置づけ、改訂の上1年延長することとなっている。
- ・このため、現「仙南地域広域観光推進プラン」（①）については、県プランにあわせて、1年間（令和3年度末まで）期間を延長するとともに、仙南地域の回復戦略をとりまとめ、現プランに追加することとした。

2 仙南地域の回復戦略の現プランへの追加について

- ・仙南圏域会議で御議論いただきとりまとめた「仙南圏域の施策の方向性及び取組」（②）を現プランの「第4章 観光振興の施策・取組」の3つの基本方針に「基本方針4」として追加するとともに、重点的取組（3つの柱）に「重点4」として追加する。（別添追加イメージ③④参照）

<仙南地域広域観光推進プラン>

第4章 観光振興の施策・取組

1 施策の体系

2 施策・取組

基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開

基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進

基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり

基本方針4 ～ コロナからの回復戦略 ～

3 重点的取組

重点1 「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーションの実施

重点2 「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実

重点3 「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり

重点4 ～ コロナからの回復戦略 ～

- ・また、これらに基づいた具体的な取組については、今後管内各市町と調整しとりまとめる。（別添とりまとめイメージ⑤参照）

3 今後のスケジュールについて

- ・回復戦略のプラン本体への追加は、今後速やかに行う。
- ・具体的な取組については、県及び各市町の今年度の補正予算や令和3年度予算の編成状況に応じて、とりまとめる。
- ・なお、第二期プラン（令和4年度～）については、令和3年度末までにとりまとめる。

■計画の目的
仙南地域の広域観光推進の方向性を定め、交流人口拡大と地域経済の活性化を目指す

■計画の位置づけ
宮城県と仙南地域の2市7町が連携して仙南地域の広域の観光振興の方向性を示す計画

■期間 平成29年度から令和2年度までの4年間

■計画の対象地域 仙南地域2市7町

■基本理念
仙南地域は全国レベルの知名度を有する「蔵王」をはじめ、豊富な観光資源に恵まれており、観る観光だけでなく滞在・体験型観光が楽しめる、多様性の高い地域です。
2市7町が個性を活かした観光振興を行いながら、「蔵王」を活用した広域連携を進めることにより、多様なヒト・モノ・コトの輝きを繋ぎ合わせて、仙南らしい温かいおもてなしの心で観光客の多様なニーズに応え、国内外から観光客が集まる魅力的な観光地づくりを目指します。

■仙南地域の目標像 Link ZAO ～求める旅がそこにある～

■計画の目標値
仙南地域の観光客入込数 H27: 602万人 ⇒ H31: 771万人
仙南地域の宿泊客数 H27: 63万人泊 ⇒ H31: 78万人泊
仙南地域の外国人宿泊客数 H27: 0.9万人泊 ⇒ H31: 4.5万人泊

■目標を達成した場合の仙南地域への経済波及効果
H27: 181億円 ⇒ H31: 229億円

仙南地域の観光の現状

- 1 仙南地域の観光を取り巻く社会の動きと見通し
 - 人口構造の変化により、観光需要の量や質、観光業の人材確保への影響（宮城県の人口はH2⇒H42で5%減）
 - 目的性の高い観光や体験型観光、小グループ化など観光の嗜好や形態の多様化（個人旅行がH14⇒H25で8%増）
 - 新幹線・高速道路、広域道路網の整備、仙台空港の民営化等広域交通環境の変化による観光への影響
 - インバウンドの拡大（訪日外国人旅行者数は、2,030年に6,000万人を目標）
 - 観光情報・手続きでのICTの普及
 - 東日本大震災からの復興
- 2 仙南地域の観光の現状
 - (1) 仙南地域の観光圏としての特性
 - アクセス性と観光資源に恵まれているが低い知名度
 - 多様性が高く一体感が弱い観光圏
 - (2) 仙南地域の観光入込みの特性
 - 大幅に減少している宿泊客
 - 周遊観光の少ない仙南地域の観光客
 - 緩やかな伸びにとどまる外国人宿泊客数
 - (3) 仙南地域の観光地運営
 - 圏域内のつながりが弱い情報・公共交通
 - 調整・連携機能が弱い広域観光地運営体制



仙南地域の観光の課題

- 1 仙南地域の観光地イメージ共有とブランド化
- 2 多様な観光資源の連携と活用による魅力向上
- 3 ブランド化や誘客に向けた情報発信やPR、イベントの広域連携
- 4 宿泊の魅力向上と滞在性が高い観光メニューの提供による宿泊客の増加
- 5 仙南地域の周遊を活活化させる観光ルートの形成とより広域な観光ルートとの連携
- 6 客層の変化に対応した仙南地域の周遊を促す情報や交通のネットワーク化
- 7 インバウンドの誘客と受入環境整備
- 8 仙南地域の戦略的観光地運営と持続的観光振興をリードする人材育成



観光振興の施策・取組

基本方針1
仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築

仙南地域の認知度向上のためのブランド構築に向け、2市7町が連携してPRや観光資源づくりに取り組みます。

基本方針2
多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進

多様な観光資源を活かして、体験・滞在型観光の推進に向けたメニューづくりや体制整備に取り組めます。

基本方針3
国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり

インバウンドや遠方からの観光客など国内外からの観光客を迎えるための基盤体制づくりと人づくりに取り組みます。

施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開
仙南地域を「みやぎ蔵王」という一体的な地域イメージで認知度を向上させるため、関係者が連携して「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」を積極活用したブランドイメージづくりの戦略を検討・実践するとともに、仙台圏域・山形県・福島県などの周辺観光圏とも連携し、仙南地域の一体的なプロモーションによる認知度向上を図ります。

施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光資源の魅力向上
仙南地域の隠れた「食べる」「観る」「体験」等の観光資源の発掘と磨き上げを行うとともに、特に「食」の魅力の充実に向けて、観光関係者が連携した魅力的な提供を行います。

施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進
仙南地域の観光の魅力効果をPRし、県外・国外からの誘客を促進するため、WEBを活用した情報発信や、周辺観光圏等との連携によるプロモーションを行うとともに、関係者の連携による各種イベントの効率的・効果的な開催に努めます。

施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実
仙南地域の強みである自然・歴史・文化・体験・産業・温泉等の多彩な観光資源を組み合わせ活用し、観光客のニーズに応じた体験・滞在型メニューの充実を図ることにより、観光客の宿泊を促します。

施策5 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成
周辺観光圏との連携により、テーマ性を持った魅力的な広域周遊ルートを形成し、遠方の県外客や外国人観光客の誘客を図るとともに、仙南地域内での周遊促進に向けた観光ルート形成も行います。

施策6 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化
観光客の地域内周遊の円滑化のため、観光・交通情報の一体的な提供や、分かりやすい観光サインの整備を行うとともに、交通ネットワークの充実に向けた取組を行います。

施策7 インバウンド受入体制の強化
外国人観光客が快適に仙南地域を旅行できる環境づくりのため、観光情報・表記の多言語化、無線LAN環境、交通環境等の整備に向けた取組を進めるとともに、観光従事者の外国人接客力の向上に努めます。

施策8 仙南地域の観光を支える人材育成
魅力ある観光地づくりのため、観光振興をリードする人材の育成と、観光従事者の接遇向上の研修、地域住民や民間事業者の観光地づくりの意識啓発を行います。

施策9 観光振興を推進する連携体制の強化
県、市町、観光関係団体、商工関係団体及び民間事業者等が連携し、仙南地域の観光振興を推進する体制を構築します。

- ①「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」を活用したイメージ戦略の展開
- ②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション

- ①観光資源の発掘・磨き上げ
- ②観光客を惹きつける“食”の広域展開

- ①WEBを活用した効果的な情報発信
- ②連携による効率的なイベントの展開
- ③国外・県外からの誘客に向けたプロモーション

- ①新たな体験・滞在型観光メニューの造成
- ②多様な宿泊サービスの提供
- ③教育旅行等の誘致

- ①周辺観光圏域との広域観光ルートの形成
- ②仙南地域の観光ルートの形成

- ①仙南地域の観光情報の共有と一体的な提供
- ②交通情報及び観光サインの充実
- ③仙南地域の交通ネットワークの充実

- ①観光情報の多言語化
- ②外国人向け案内表示等の整備
- ③観光従事者等の外国人接客力向上
- ④無線LAN環境の整備
- ⑤周遊しやすい交通環境の整備

- ①観光地域リーダー育成
- ②観光関係者のおもてなし力向上及び普及啓発

- ①多様な関係主体が連携した一体的観光運営組織の運営

- みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案
- 観光地域リーダー育成研修【再掲】
- WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信
- 仙南地域の観光イベントの一体的なPR【再掲】
- 各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション

- 地域住民等による観光資源の発掘と発信
- 地域の優れた資源の磨き上げ
- 仙南地域ならではの食の名物づくり
- 宿泊施設等における仙南産食材の積極活用とPR
- 連携による地場産品の販売促進活動

- 観光PR動画の発信
- SNS等を活用した情報発信
- 県南地域の総合観光情報発信サイトの運営
- 仙南地域の観光イベントの一体的なPR
- 市町間連携による観光イベントの実施

- 首都圏等県外からの観光客の誘客
- 航空機利用による県外観光客の誘客
- 周辺観光圏との連携による海外プロモーション
- 県南地域の一体的な海外プロモーション
- 仙台空港を利用する外国人観光客の誘客
- 首都圏及び北海道からの外国人観光客の誘客
- 中国からの観光客の誘客
- 冬の魅力を活かしたプロモーション

- 多彩な体験型観光メニューの造成
- 滞在型コンテンツ商品の造成
- 宿泊を促す観光メニューやサービスの提供
- 宿泊を伴う体験型観光の受入体制づくり
- 教育旅行等の誘致活動

- 隣接地域との連携による観光ルート形成
- 東北周遊ルートの旅行商品づくり
- テーマ性のある観光ルート形成

- 県南地域の総合観光情報発信サイトの運営【再掲】
- 道の駅等における広域観光情報提供
- 仙南地域の交通情報の一体的な提供
- 分かりやすい観光サインの整備
- 交通ネットワークの充実
- レンタカーによる周遊観光の促進

- 多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信
- 多言語による観光情報のワンストップサービスの提供
- 観光施設等における多言語案内表示等の整備
- 外国人おもてなし研修の実施
- 宿泊施設や観光施設における無線LAN環境の整備
- 仙南地域の交通情報の一体的な提供【再掲】
- 分かりやすい観光サインの整備【再掲】
- 交通ネットワークの充実【再掲】

- 観光地域リーダー育成研修
- おもてなし対応力向上研修
- 観光地づくりの意識啓発
- 優れたおもてなしの取組への表彰

- 宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案
- みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案【再掲】

＜重点的取組＞

本計画の期間である、平成29年度から令和2年度までの4年間において、3つの目標値を達成するため、早急に取り組む項目として以下の取組について、重点的に行います。

重点1 「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーションの実施

県外や海外に対する地域や年齢層などターゲットにあわせた戦略的なプロモーションを重点的に行います。

【主な取組】

(1) 県外へのプロモーション

- WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信（施策1②）
- 各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション（施策1②）
- 観光PR動画の発信（施策3①）
- SNS等を活用した情報発信（施策3①）
- 県南地域の総合観光情報発信サイトの運営【新規】（施策3①、施策6①）
- 首都圏等県外からの観光客の誘客（施策3③）
- 航空機利用による県外観光客の誘客（施策3③）
- 冬の魅力を活かしたプロモーション（施策3③）

(2) 海外へのプロモーション

- 周辺観光圏との連携による海外プロモーション（施策3③）
- 県南地域の一体的な海外プロモーション【新規】（施策3③）
- 仙台空港を利用する外国人観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 首都圏及び北海道からの外国人観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 中国からの観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信（施策7①）
- 多言語による観光情報のワンストップサービスの提供【新規】（施策7①）

重点2 「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実

宿泊に結びつく体験型や滞在型の観光メニューの造成や、おもてなしの対応力向上、観光客が快適に回れる交通ネットワークの充実などを進め、再び来たくするような観光地を目指します。

【主な取組】

- 多彩な体験型観光メニューの造成（施策4①）
- 滞在型コンテンツ商品の造成【新規】（施策4①）
- 宿泊を伴う体験型観光の受入体制づくり【新規】（施策4②）
- 交通ネットワークの充実【新規】（施策6③、施策7⑤）
- おもてなし対応力向上研修（施策8②）

重点3 「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり

仙南地域の2市7町、観光関連事業者、観光協会、商工会、地域住民が一体となり、宮城インバウンドDMO推進協議会とも連携を取りながら、地域として一体的な観光振興に取り組みます。

【主な取組】

- みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案（施策1①、施策9①）
- 観光地域リーダー育成研修【新規】（施策1①、施策8①）
- 観光地域づくりの意識啓発【新規】（施策8②）
- 宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案【新規】（施策9①）



仙南地域広域観光推進プラン 概要版

Link ZAO ～求める旅がそこにある～

発行 平成29年3月
編集 宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部
〒980-8570 宮城県柴田郡大河原町字南129-1
電話 :0224-53-3182
E-Mail : oksinbk2@pref.miyagi.jp
URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>



平成29年3月

宮城県大河原地方振興事務所・白石市・角田市・蔵王町
七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町

仙南圏域（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）

圏域の観光の現状

- 各宿泊施設や観光施設それぞれが単独で頑張っているが、地域全体としての誘客活動が弱い。
- 現状では蔵王は山形のイメージも強く、圏域全体では蔵王のブランドを活かしきれていない。
- 弱みだった点在する観光資源も、発想を転換し、密にならないという発信方法は良い発想。
- 「みやぎ蔵王三十六景」を活用した食と観光のブランド化の取組は、仙南として良い取組。

圏域の観光の課題

- 近くの客に蔵王の魅力を再認識してもらえる取り組み。仙台をマーケットとして捉える。
- 蔵王は首都圏若者に対して知名度が低い。県民と首都圏の認識の違いを意識する必要。
- 全国への蔵王ブランドによる宮城の魅力発信と海外への山形と連携した「蔵王(ZAO)」の発信。
- 各観光施設間、農業・宿泊業・観光業・製造業など部門間、及び交通ネットワークとの連携。

圏域の施策の方向性及び取組

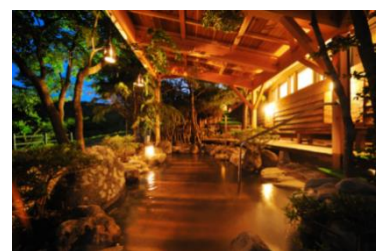
- （１）当面、近郊観光需要の取り込みにより、事業者の事業継続・雇用維持を図るとともに、with コロナ時代に求められる新たな観光価値（No 密、安全安心、健康 等）の提供に向けて、従来からの強み（温泉、自然（みやぎ蔵王）、アクセス（仙台近郊、新幹線、空港））に加え、点在する多様な観光資源・過度に混雑しない観光施設等、これまで弱みとされてきたものも、この変革の機会を捉え強みに転換
 - 安全安心対策コストへの支援、安全安心対策（具体的な取組み）の情報発信【短期】
 - 少ない収容人数・売上の中で利益を出すための経営体質改善や新たなビジネスモデル転換への支援【短期】
 - 行政側で支援メニューを用意するのではなく、事業者がやりたいことに対する支援【短期】
 - MaaS と関連付け、密や混雑にならない安全・安心情報の共有・ネットワーク化【短・中長期】
 - 温泉街活性化、イメージ向上、バーチャル観光を動画配信、朝型観光へシフト【短・中長期】
 - 温泉ワーケーションへの環境整備、ワーケーション・移住希望者への情報発信【短・中長期】
- （２）まずは地元の方々に地元の良さを知ってもらい、次に仙台、県内、隣県からの誘客促進。地域にある資源の掘り起こし、磨き上げと、それらを結び付けたPR等により、見ていただく、買っていただく実需につなげ、地域に利益を還元
 - 宮城県民が県内を周遊するキャンペーンの実施【短期】
 - 仕事での来訪者を通じた”安全安心“の情報発信、広告塔としての活用【短期】
 - 将来的なインバウンドや国際交流の観点から、生活困窮外国人留学生対象ツアー等【短期】
 - 宿泊、交通など観光関連事業者間の連携強化【短・中長期】
 - 体験・「コト」消費の推進、サイクルツーリズムの呼び込み【短・中長期】
 - 仙南地域の一体的なポータルサイトによる情報発信、「地域の逸品」を中心とした仙南地域 EC サイト立上げ【短・中長期】



みやぎ蔵王 御釜



一目千本桜・船岡城址公園
(大河原町・柴田町)



みやぎ蔵王温泉郷
(白石市・蔵王町・川崎町)

【基本方針追加イメージ】

<p>基本方針1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランドの構築</p> <p>仙南地域の認知度向上のためのブランド構築に向け、2市7町が連携してPRや観光資源づくりに取り組みます。</p>	<p>施策1 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開 仙南地域を「みやぎ蔵王」という一体的な地域イメージで認知度を向上させるため、関係者が連携して「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」を積極活用したブランドイメージづくりの戦略を検討・実践するとともに、仙台圏域・山形県・福島県などの周辺観光圏とも連携し、仙南地域の一体的なプロモーションによる認知度向上を図ります。</p>	<p>①「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」を活用したイメージ戦略の展開</p> <p>②広域連携による「みやぎ蔵王」のプロモーション</p>	<p>○みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案 ●観光地域リーダー育成研修【再掲】</p> <p>○WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信 ●仙南地域の観光イベントの一体的なPR【再掲】 ○各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション</p>
<p>基本方針2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進</p> <p>多様な観光資源を活かして、体験・滞在型観光の推進に向けたメニューづくりや体制整備に取り組みます。</p>	<p>施策4 宿泊を促す体験・滞在型メニューの充実 仙南地域の強みである自然・歴史・文化・体験・産業・温泉等の多彩な観光資源を組み合わせて活用し、観光客のニーズに応じた体験・滞在型メニューの充実を図ることにより、観光客の宿泊を促します。</p>	<p>①新たな体験・滞在型観光メニューの造成</p> <p>②多様な宿泊サービスの提供</p> <p>③教育旅行等の誘致</p>	<p>○多彩な体験型観光メニューの造成 ○滞在型コンテンツ商品の造成</p> <p>○宿泊を促す観光メニューやサービスの提供 ●宿泊を伴う体験型観光の受入体制づくり</p> <p>○教育旅行等の誘致活動</p>
<p>基本方針3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり</p> <p>インバウンドや遠方からの観光客など国内外からの観光客を迎えるための基盤体制づくりと人づくりに取り組みます。</p>	<p>施策7 インバウンド受入体制の強化 外国人観光客が快適に仙南地域を旅行できる環境づくりのため、観光情報・表記の多言語化、無線LAN環境、交通環境等の整備に向けた取組を進めるとともに、観光従事者の外国人接客力の向上に努めます。</p>	<p>①観光情報の多言語化</p> <p>③観光従事者等の外国人接客力向上</p> <p>④無線LAN環境の整備</p> <p>⑤周遊しやすい交通環境の整備</p>	<p>○多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信 ●多言語による観光情報のワンストップサービスの提供 ○観光施設等における多言語案内表示等の整備</p> <p>○宿泊施設や観光施設における無線LAN環境の整備</p> <p>●仙南地域の交通情報の一体的な提供【再掲】 ○分かりやすい観光サインの整備【再掲】 ●交通ネットワークの充実【再掲】</p>
<p>基本方針4 新型コロナからの回復のための取組</p>	<p>施策10 新型コロナからの回復のための取組</p>	<p>①従来からの強みに加え、弱みを強みに転換する取組</p> <p>②地元の良さ再発見、磨き上げとPR等により、地域に利益を還元</p>	<p>○安全安心対策コストへの支援、安全安心対策の情報発信 ○経営体質改善や新たなビジネスモデル転換への支援 ○事業者がやりたいことに対する支援 ○・・・</p> <p>○県民が県内を周遊するキャンペーンの実施 ○仕事での来訪者を通じた“安全安心”の情報発信 ○宿泊、交通など観光関連事業者間の連携強化 ○・・・</p>
<p>施策2 「みやぎ蔵王」ならではの観光資源の魅力向上 仙南地域の隠れた「食べる」「観る」「体験」等の観光資源の発掘と磨き上げを行うとともに、特に「食」の魅力の充実に向けて、観光関係者が連携した魅力的な提供を行います。</p>	<p>①観光資源の発掘・磨き上げ</p> <p>②観光客を惹きつける“食”の広域展開</p>	<p>○地域住民等による観光資源の発掘と発信 ○地域の優れた資源の磨き上げ</p> <p>○仙南地域ならではの食の名物づくり ●宿泊施設等における仙南産食材の積極活用とPR ○連携による地場産品の販売促進活動</p>	
<p>施策3 「みやぎ蔵王」の多彩な魅力のPRによる誘客促進 仙南地域の観光の魅力の効果的にPRし、県外・国外からの誘客を促進するため、WEBを活用した情報発信や、周辺観光圏等との連携によるプロモーションを行うとともに、関係者の連携による各種イベントの効率的・効果的な開催に努めます。</p>	<p>①WEBを活用した効果的な情報発信</p> <p>②連携による効率的なイベントの展開</p> <p>③国外・県外からの誘客に向けたプロモーション</p>	<p>○観光PR動画の発信 ○SNS等を活用した情報発信 ●県南地域の総合観光情報発信サイトの運営</p> <p>●仙南地域の観光イベントの一体的なPR ○市町間連携による観光イベントの実施</p> <p>○首都圏等県外からの観光客の誘客 ○航空機利用による県外観光客の誘客 ○周辺観光圏との連携による海外プロモーション ●県南地域の一体的な海外プロモーション ●仙台空港を利用する外国人観光客の誘客 ●首都圏及び北海道からの外国人観光客の誘客 ●中国からの観光客の誘客 ○冬の魅力を活かしたプロモーション</p>	
<p>施策5 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成 周辺観光圏との連携により、テーマ性をもった魅力的な広域周遊ルートを形成し、遠方の県外客や外国人観光客の誘客を図るとともに、仙南地域内での周遊促進に向けた観光ルート形成も行います。</p>	<p>①周辺観光圏域との広域観光ルートの形成</p> <p>②仙南地域の観光ルートの形成</p>	<p>○隣接地域との連携による観光ルート形成 ○東北周遊ルートの旅行商品づくり ○テーマ性のある観光ルート形成</p>	
<p>施策6 周遊促進に向けた情報・交通のネットワーク化 観光客の地域内周遊の円滑化のため、観光・交通情報の一体的な提供や、分かりやすい観光サインの整備を行うとともに、交通ネットワークの充実に向けた取組を行います。</p>	<p>①仙南地域の観光情報の共有と一体的な提供</p> <p>②交通情報及び観光サインの充実</p> <p>③仙南地域の交通ネットワークの充実</p>	<p>●県南地域の総合観光情報発信サイトの運営【再掲】 ○道の駅等における広域観光情報提供</p> <p>●仙南地域の交通情報の一体的な提供 ○分かりやすい観光サインの整備</p> <p>●交通ネットワークの充実 ○レンタカーによる周遊観光の促進</p>	
<p>施策8 仙南地域の観光を支える人材育成 魅力ある観光地づくりのため、観光振興をリードする人材の育成と、観光従事者の接客向上の研修、地域住民や民間事業者の観光地づくりの意識啓発を行います。</p>	<p>①観光地域リーダー育成</p> <p>②観光関係者のおもてなし力向上及び普及啓発</p>	<p>●観光地域リーダー育成研修</p> <p>○おもてなし対応力向上研修 ●観光地づくりの意識啓発 ○優れたおもてなしの取組への表彰</p>	
<p>施策9 観光振興を推進する連携体制の強化 県、市町、観光関係団体、商工関係団体及び民間事業者等が連携し、仙南地域の観光振興を推進する体制を構築します。</p>	<p>①多様な関係主体が連携した一体的観光運営組織の運営</p>	<p>●宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案 ○みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案【再掲】</p>	

【重点的取組追加イメージ】

＜重点的取組＞

本計画の期間である、平成29年度から令和2年度までの4年間において、3つの目標値を達成するため、早急に取り組む項目として以下の取組について、重点的にを行います。

重点1 「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーションの実施

県外や海外に対する地域や年齢層などターゲットにあわせた戦略的なプロモーションを重点的にを行います。

【主な取組】

(1) 県外へのプロモーション

- WEBを活用した仙南地域の一体的な観光情報発信（施策1②）
- 各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション（施策1②）
- 観光PR動画の発信（施策3①）
- SNS等を活用した情報発信（施策3①）
- 県南地域の総合観光情報発信サイトの運営【新規】（施策3①、施策6①）
- 首都圏等県外からの観光客の誘客（施策3③）
- 航空機利用による県外観光客の誘客（施策3③）
- 冬の魅力を活かしたプロモーション（施策3③）

(2) 海外へのプロモーション

- 周辺観光圏との連携による海外プロモーション（施策3③）
- 県南地域の一体的な海外プロモーション【新規】（施策3③）
- 仙台空港を利用する外国人観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 首都圏及び北海道からの外国人観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 中国からの観光客の誘客【新規】（施策3③）
- 多言語WEBサイトやガイドブック等による観光情報の発信（施策7①）
- 多言語による観光情報のワンストップサービスの提供【新規】（施策7①）

重点2 「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実

宿泊に結びつく体験型や滞在型の観光メニューの造成や、おもてなしの対応力向上、観光客が快適に回れる交通ネットワークの充実などを進め、再び来たくなるような観光地を目指します。

【主な取組】

- 多彩な体験型観光メニューの造成（施策4①）
- 滞在型コンテンツ商品の造成【新規】（施策4①）
- 宿泊を伴う体験型観光の受入体制づくり【新規】（施策4②）
- 交通ネットワークの充実【新規】（施策6③、施策7⑤）
- おもてなし対応力向上研修（施策8②）

重点3 「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり

仙南地域の2市7町、観光関連事業者、観光協会、商工会、地域住民が一体となり、宮城インバウンドDMO推進協議会とも連携を取りながら、地域として一体的な観光振興に取り組みます。

【主な取組】

- みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案（施策1①、施策9①）
- 観光地域リーダー育成研修【新規】（施策1①、施策8①）
- 観光地域づくりの意識啓発【新規】（施策8②）
- 宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案【新規】（施策9①）

重点4 ～ 新型コロナからの回復のための取組 ～

仙南地域広域観光推進プランに係る令和〇年度事業計画(コロナ対策関連)【事業とりまとめイメージ】

4-3-⑤

No.	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和〇年度取組計画	プラン施策	プラン 重点的取組
1	観光事業者スタンドア ップ支援事業	県(観光課)	外出自粛などにより影響を受けた観光事業者に対する需要喚起を目的 に、旅館組合等が実施する新型コロナウイルス収束後の集客に繋がる取 組や感染症対策の取組に対して補助を行います。		施策10-①	重点4
2	日帰りバスツアー特別 支援事業	県(観光課)	バス事業者に対する需要喚起施策を講じることを目的に、バスの感染症 拡大防止策を含む県内向けバスツアーに限定した補助を行います。		施策10-① 施策10-②	重点4
3	地元の魅力再発見・観 光モデルプラン造成発 信事業	県(大河原地方 振興事務所)	みやぎ観光振興会議県域会議のワーキンググループの活動として、地域 における新たな観光モデルプラン(日帰りプラン、宿泊プラン)を作成する とともに、観光ツアーを造成し、情報発信により誘客を促進します。		施策10-②	重点4
4		〇〇市				
5		〇〇町				
6						